



さと  
やすらぎの郷



# 新年の挨拶



園長 野見山 浩志

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

旧年中は、長引く新型コロナウイルス感染症の影響により社会情勢が混沌とする中、やすらぎの郷に対しまして、変わらぬ温かいご支援ご協力を賜り、心から御礼申し上げます。

悲願であったコロナワクチン接種も実現し、優れた人類の英知を実感するとともに、待ち望んでいた東京オリンピック・パラリンピックも無事開催され、感動と喜びを得ることができました。苦しい中ではございますが、希望の光が見えた年ではなかったかと存じます。

新年を迎え、コロナ変異株の出現や経済活動の混迷など気の緩められぬ日々がまだまだ続きますが、やすらぎの郷は“今私たちにできること”を大切に、全力を挙げて感染防止対策のさらなる徹底・継続を図りながら、利用者の皆様の安全・安心を確保してまいります。

このたび、やすらぎの郷の令和4年度事業計画を策定いたしましたので、その中からいくつか主な取り組みについてご紹介したいと思います。

第一に、リスクマネジメントの取り組みです。当施設で最も発生件数の多い転倒事故防止を目的に、見守りカメラ“CUBE”（介護ロボット導入事業）を設置し、昨年度から実質的運用を開始しました。その有効性は顕著であり、事故発生時の解析と発生防止対策の立案等に大きな成果が得られております。今後、同カメラの増設も検討しており、引き続き事故防止対策の切り札として、さらなる有効活用を図ってまいります。

第二に、施設サービス向上の取り組みです。既に地域空間整備事業として交付金が確定している看取り部屋2室の設置工事を来月から開始します。（実質運用は令和4年度）これは、看取り体制の充実を図ることはもとより、終末期にある利用者のご家族との大切な時間を確保し、赤十字が重きを置く“人間の尊厳”を尊重する上で、大変意義のある事業と考えています。また、コロナ禍で制限のかかる面会やご家族との交流、敬老の集いや秋祭りなどのイベントなどについては、Webやオンラインカメラ等も駆使し、皆様に満足していただけるよう創意工夫を凝らして実施してまいります。

第三に、地域の教育機関との交流受入れの取り組みです。従前から、地域における幼稚園・保育所の園児、小・中・高校の児童・学生の施設見学や施設体験学習としての受入れを積極的に行ってまいりましたが、コロナ禍において、高齢者である当施設の利用者との交流の機会が減少しております。しかしながら、子供たちの福祉・ボランティアの心を育むという意味で、交流は極めて貴重であり大切な機会であると考えており、必要に応じてWebやオンラインカメラ等を活用しながら、積極的に受け入れてまいります。

最後に、当施設は令和2年3月に地元志免町に“福祉避難所”の指定を受けております。3月、地域の皆様と連携した初の災害時避難訓練も予定しています。私どもは、地域の高齢者の皆様に、災害発生時に支援し地域に貢献していくことも、赤十字の施設であるやすらぎの郷の重要な使命であると考えています。

今後とも、皆様から信頼され必要とされる施設であり続けるよう、鋭意努力してまいりますので、引き続きご支援ご協力を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

また、一日も早くコロナ感染が終息し、本年が皆様にとって輝かしい一年となりますことを心からご祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

## 新たな介護記録システム導入

これまで、やすらぎの郷では、ご利用者様の情報について、ほとんどすべてを紙媒体で記録してきました。昨今のIT化の流れにより、やすらぎの郷でも今年から新たな介護記録システムを導入することになりました。これにより、ご本人様の情報を、各部署で同時に確認することができ、また同じ内容の情報を複数回記入するなどの手間が省けることとなります。新たなシステムに慣れるのに時間はかかると思いますが、職員は使い方の習得に励んでいます。



# 医療法人うえの病院

今回は、やすらぎの郷の連携病院として、  
いつもお世話になっております  
「うえの病院」様のご紹介を  
させていただきます。



名称：医療法人うえの病院  
診療科目：外科・消化器内科・消化器外科・大腸・肛門外科・血液透析内科・リハビリテーション科  
所在地：〒811-2202 福岡県糟屋郡志免町志免2-10-20  
電話：092-935-0316  
病床数：一般病床12床、地域包括ケア病床24床

当院は、1964年上野外科胃腸科病院として糟屋郡志免町で創業致しました。地域に根ざした病院として、時を経るに従って診療科を拡充させてきました。ゆっくり話を聞いて診療して欲しい、出来る限り体に負担が少ない治療を受けたい…など、当院を利用する患者様からは、様々な要望が寄せられていました。その声に応えるために、設立から50数年を経た2017年、当院は新たに「うえの病院」と改名致しました。

改名の目的は、当院が目指す「地域のかかりつけ医」になることです。日頃から地域の人々の体調を把握しておくことで、わずかな変化を見逃さない環境を整えることを目指しております。

当院の創業当時、この地域には病院数は少なかったのです。よって、地域の人々から寄せられる期待は大きくその結果、外科、消化器内科、消化器外科、内視鏡外科、大腸・肛門外科、血液透析内科、リハビリテーション科と対応する診療科目は増加してきました。

大きな転機が訪れたのは、2009年。患者様の要望が大きかった身体の負担が少ない手術のために、腹腔鏡下手術の導入を始めました。2015年、胆石症センター、そけいヘルニアセンター、肛門病センターという3つの専門センターの開設で、腹腔鏡下手術



理事長 上野 毅一郎 先生

のうえの病院の名前は、おかげ様で地域を越えて広がっていきました。

在宅療養支援病院の認定を受けている当院では、医師による訪問診療や看護師による訪問看護、言語聴覚士による嚥下訓練までを含むリハビリテーションなど、在宅の患者様を支える体制を整えて参りました。

また、福祉・医療のスペシャリストによる地域連携機能の拡充にも尽力してきました。これにより、付近の病院、クリニック、高齢者施設などとの連携を更に深め、いざという時の対応の迅速化を図ってまいりました。

そういった背景の中で、当院はやすらぎの郷の連携病院として、ご利用者の皆様の健康を見守る重要な役割を使命としてとらえ、積極的に



病院長 田上 和夫 先生

嘱託医としての派遣を行っております。

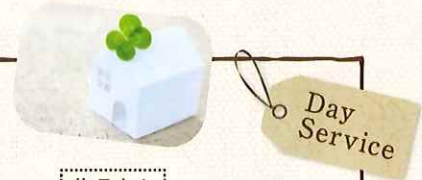
今後とも、福祉・医療の連携を一層図るとともに、地域の皆様によりよい医療を提供してまいりたいと考えています。



やすらぎの郷 嘱託医  
松田 博光 先生

# デイサービス

## 令和3年度 デイサービス親睦会



Day Service

梅月さん



黒田さん



新型コロナウイルス流行の影響により、大勢が一同に会し行う行事を自粛しておりましたが、この度デイサービスで2年ぶりに親睦会を開催しました！

自粛期間が長く久しぶりの演芸ということで職員一同緊張しておりましたが、利用者様の声援を受け、普段以上のサービス精神が沸き上がり、身体を張った芸を披露。爆笑に包まれ大いに盛り上がった会となりました。

おやつバイキングも併せて開催！目を輝かせてケーキを選ばれ、「美味しい～」と大変好評でした。皆さんと親睦を深めながら楽しいひと時を過ごすことができました。

今回の親睦会において「笑った～」「楽しかった～」と喜ばれる利用者様を拝見し、職員も達成感を感じる時間でした。今後も感染対策を講じつつ、形を変えながらデイサービス行事を開催していきたいと思えます。

新年もやすらぎの郷デイサービスの運営にご理解ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

園長挨拶



伊藤さん



仮装



丸山さん、ひと口で!



江戸の町娘による歌謡ショー



おやつバイキング



ハンドパワー!!



マジックを披露



衣装とダンスで大爆笑





# 2021年 第9回やすらぎの郷 秋祭り

10月20日に、第9回やすらぎの郷秋祭りを開催しました。

新型コロナの影響により、今年もご家族及び地域の方の参加は控え、施設内だけでの開催となりましたが、有志職員による演芸とケーキデザートで楽しい時間を過ごしました。



演芸のトップバッターは、西棟の有志職員による「よさこいソーラン節」。

続いて登場したのは、やすらぎの郷のお祭りでは初登場の医務課。出し物はスコップ三味線。感動のあまり、思わず涙ぐまれるご利用者もいて大好評でした。



お次は、園長自らが率いる事務課による獅子舞。150年の伝統を誇る白山神社の舞を披露し、コミカルな掛け合いとタンツ、タンツと小気味のよい音がホールに響きました。

ステージのとりは、東棟の有志二人による、歌あり、マジックショーありの弾けたステージ。いつまでも笑い声がこだましていました。



ステージの後は、お楽しみデザートタイム。視覚で皆さんに楽しんでいただくために超大型ケーキを準備し、それを切り分けて、美味しく頂きました。

ステージでもデザートタイムでも、皆さまの楽しそうな笑顔をたくさん見ることができて、秋祭り実行委員会としても、「開催して本当に良かった」と感じ入りました。来年こそは、新型コロナが落ち着き、ご家族と地域の皆様にも参加してもらって盛大なお祭りになりたいと思っています。スタッフの皆さんお疲れ様でした。

## 100歳おめでとうございます！ ケアハウス 川中鈴子さん

ケアハウスにご入居されている川中鈴子さんが100歳を迎えられ、大野城市からお祝いメッセージの楯と内閣総理大臣から銀杯を戴かれました。お誕生日にはご家族から盛大にお祝いをしてもらい、大変うれしかったと顔をほころばせながらお話しいただきました。元気の秘訣をお聞きすると、「好き嫌いなく良く食べること、なるべく歩くこと」を心掛けているとのこと。また、読書が大好きで、小説から週刊誌まで幅広く読まれるそうです。「ケアハウスは支援が整っているの、安心して生活ができています」と川中さん。これからもお元気でお過ごしください。



※ケアハウスとは、高齢により生活が不安になってきたなどの理由で、自宅で暮らすことが難しくなった方が入居して、生活支援サービスを受けながら生活していただく施設です。





## 【敬老の集い】



令和3年9月22日(水)に敬老の集いを開催しました。

新型コロナウイルスの感染予防のため、昨年同様、ご家族や来賓者の同席はなく施設内だけの催しでした。特養ご利用者、ケアハウスご利用者、デイサービスご利用者のうち、令和3年度に、77歳、80歳、88歳、99歳になる方と、100歳以上の方(計30名)を参加者全員でお祝いしました。オンラインにて、宇美商業高校の皆さんから、お祝いのメッセージをいただき、対象者全員に記念品を贈呈させていただきました。皆様、おめでとうございます。益々のご長寿を願っております!!



宇美商業高校からお祝いメッセージ



東棟



西棟



ケアハウス



## 【宇美商業高校から鶴文字の寄付】

宇美商業高校の生徒様と教諭の皆様が、一つ一つ思いを込めて、丹念に折ってくださった折鶴で作成した「鶴文字」の寄贈がありました。

この鶴文字は、コロナ禍となり交流が難しくなったなかで何かできることはないかと思いから、家庭科クラブの生徒様が自主的に行動され、製作に取り組みされたとのことでした。

また、この「和」という文字には、「離れていても心は繋がっている」「穏やかで、心が和む日々を過ごしてほしい」との思いが込められているとのことでした。

真心のこもった鶴文字は入所者のみならず、常に緊張状態が続く現場職員にも「勇気」を与えてくださいました。この場をお借りして感謝申し上げます。



## 【JKA補助事業でモジュール型車椅子16台を整備】



このたび公益財団法人JKA様の競輪公益資金補助事業により車椅子を整備させていただきました。

今回整備したモジュール型車椅子はアームレスト、フットレストの稼働域も広く、取り外しも可能です。また従来型より格段操作性が高く軽量化されており、デザイン性も高く明るい色も選べます。

利用者みなさんは、これを機会にレクリエーションやイベントへの参加など活動の幅が広がることを期待できますし、介護者にとってはかなりの負担軽減になります。

また、やすらぎの郷は志免町より福祉避難所の指定を受けており、災害時にも大いに役立つことと思います。ほんとうにありがとうございました。大事に末永く使わせていただきます。



※公益財団法人JKA(ジェイケーエー)は、公営競技の競輪とオートレースを統括する国民の健全なる余暇を推進する公益法人であり、競輪及び小型自動車競走の公正かつ円滑な実施及び振興のため必要な業務並びにその他の関連業務をおこなっています。また収益の一部を地域・社会に還元することを理念に掲げており、その一つとして補助事業を展開されています。

日本赤十字社福岡県支部  
特別養護老人ホーム

やすらぎの郷

〒811-2208 福岡県粕屋郡志免町大字吉原600番 TEL.092-936-2022 FAX.092-936-2135  
ホームページ <http://yasuraginosato.org/cgi-bin/index.cgi>

令和4年1月発行